



セカンド・パーティ・オピニオン

SECOND PARTY OPINION

北陸電力株式会社

グリーンボンド 定期レビュー(第1回)

Prepared by: DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

Location: 神戸, 日本

Date: 2022年9月29日

Ref. Nr.: PRJN-289645-2021-AST-JPN-PR1

目次

I.	スコープと目的	4
II.	北陸電力および DNV の責任	5
III.	DNV 意見の基礎	6
IV.	評価作業	7
V.	観察結果及び DNV 意見表明	8
	スケジュール 1 対象プロジェクト概要	11
	スケジュール 2 グリーンボンド適格性評価手順	12

発行履歴	内容
2021年10月28日	債券発行前定期レビュー報告書 セカンド・パーティ・オピニオン
2022年9月29日 (今回報告書)	グリーンボンド定期レビュー(1回目) 資金充当状況：調達資金100億円のうち47.2億円を計画通り充当完了 環境改善効果：水力発電(10箇所)によるCO ₂ 削減効果：370,414t-CO ₂ (2021年度) 実施中のプロジェクト：水力発電について計画通り進捗

Disclaimer

Our assessment relies on the premise that the data and information provided by Issuer to us as part of our review procedures have been provided in good faith. Because of the selected nature (sampling) and other inherent limitation of both procedures and systems of internal control, there remains the unavoidable risk that errors or irregularities, possibly significant, may not have been detected. Limited depth of evidence gathering including inquiry and analytical procedures and limited sampling at lower levels in the organization were applied as per scope of work. DNV expressly disclaims any liability or co-responsibility for any decision a person or an entity may make based on this Statement.

Statement of Competence and Independence

DNV applies its own management standards and compliance policies for quality control, in accordance with ISO/IEC 17021:2011 - Conformity Assessment Requirements for bodies providing audit and certification of management systems, and accordingly maintains a comprehensive system of quality control, including documented policies and procedures regarding compliance with ethical requirements, professional standards and applicable legal and regulatory requirements. We have complied with the DNV Code of Conduct¹ during the assessment and maintain independence where required by relevant ethical requirements. This engagement work was carried out by an independent team of sustainability assurance professionals. DNV was not involved in the preparation of statements or data included in the Framework except for this Statement. DNV maintains complete impartiality toward stakeholders interviewed during the assessment process.

¹ DNV Code of Conduct is available from DNV website (www.DNV.com)

I. スコープと目的

2021年12月9日、北陸電力株式会社(以下、「北陸電力」または「発行者」)は第1回北陸電力グリーンボンド(以下、「ボンド」)を発行しました。債券発行額は100億円、償還期間は10年です。DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社(以下、「DNV」)は、グリーンボンド原則(国際資本市場協会 ICMA 2021 以下、GBP)、グリーンボンドガイドライン(環境省 2020 以下、GBGLs)を適用し、また適用可能な場合には気候ボンド基準(CBS、v3.0 以下 CBS)の技術基準を参照し、グリーンボンド適格性評価を実施しました。

北陸電力は、2019年4月に持続的な成長への道筋を描いた「北陸電力グループ 2030 長期ビジョン」を、2021年4月に「北陸電力グループ カーボンニュートラル達成に向けたロードマップ(以下ロードマップ)」を策定し、信頼され選択される責任あるエネルギー事業者として、「電源の脱炭素化」、「送配電網の高度化」及び「お客さま・地域の脱炭素支援」を通じ、2050年カーボンニュートラルに挑戦することを表明しました。2022年4月には「長期ビジョン達成に向けた北陸電力グループの取り組み(2022年度)」において、カーボンニュートラル達成に向けた取り組みの加速に向けてロードマップの目標値の新規設定・上方修正を行いました。

北陸電力は北陸電力グリーンボンドで調達した資金を以下に分類されるプロジェクト及び資産に対し、計画通りに充当しました。

「再生可能エネルギーに関する事業(発電所・施設及び関連施設の建設・設置、運営及び維持管理)」

- ・水力発電事業

DNV はグリーンボンドの定期レビューを提供するよう北陸電力から委託されています。この目的を果たすための我々の基準と情報は下記の「評価作業」で説明されています。定期レビューは、2022年6月30日に実施した北陸電力へのインタビュー並びに北陸電力によって提供された情報(北陸電力関係者へのインタビュー及び文書)に基づいて行われました。我々は独立した保証対応や他の監査活動は提供しません。DNV は、独立した外部レビュー機関としてセカンド・パーティ・オピニオンの提供に際し、北陸電力とは事実及び認識においていかなる利害関係も持たないことを宣言します。

この報告書では、発行体の財務的なパフォーマンス、債券のいかなる投資の価値、あるいは選定されたプロジェクトの長期の環境便益に関する保証は提供しません。DNV の目的は、債券の資金使途が後述する基準に合致しているか、について評価を提供することです。



II. 北陸電力および DNV の責任

北陸電力は、DNV がレビューを実施する間に必要な情報やデータを提供しています。DNV のステートメントは、独立した意見を表明するものであり、我々に提供された情報を基礎にして、確立された基準が満たされているかどうかについて北陸電力及び債券の利害関係者に情報提供することを意図しています。その業務において我々は、北陸電力から提供された情報及び事実を根拠にしています。DNV は、この意見表明の中で参照する選定された資産のいかなる側面に対して責任がなく、また試算、観察結果、意見又は結論が不正確である場合、それに対し責任を問われることはありません。従って DNV は、北陸電力の関係者から提供されたこの評価の基礎として使用された情報やデータのいずれかが正確または完全でなかった場合、責任を問われないものとします。

III. DNV 意見の基礎

DNV は、北陸電力に特有のグリーンボンド適格性評価手順(以下、「手順」)を作成するため、グリーンボンド原則 (GBP)^{*1}、グリーンボンドガイドライン(GBGLs)^{*2} 及び気候ボンド基準(債券発行前評価時のみ)^{*3} の評価方法論を採用しており、これらは GBP の要求事項が組み込まれています。

我々の手順は、DNV の意見表明の根拠に資する一連の適切な基準を含んでいます。その基準の背景にある包括的な原則は、グリーンボンドは「環境便益を伴う新規又は既存プロジェクトへの資本調達や投資を可能とする」べきである、というものです。

我々の手順に従って、レビューされる債券に対する基準は、以下の 4 つの原則にグループ分けされます。

- **要素 1：調達資金の使途**：調達資金の使途の基準は、グリーンボンドの発行体が適切な活動に対する融資として調達した資金を使わなければならない、という要求事項によって定められています。適格プロジェクトは、明確な環境改善効果を提供するものです。
- **要素 2：プロジェクトの評価及び選定のプロセス**：プロジェクトの評価及び選定の基準は、グリーンボンドの発行体が、グリーンボンド調達資金を使途とする投資の適格性を判断する際に従うプロセスの概要を示さなければならない、また、プロジェクトが目的に対する影響をどのように考慮しているかの概要を示さなければならない、という要求事項によって定められています。
- **要素 3：調達資金の管理**：調達資金の管理の基準は、グリーンボンドが発行体組織によって追跡管理されなければならないこと、また、必要な場合には、区別されたポートフォリオを構築し、未充当資金がどのように扱われるか公表するという観点で作成されなければならないことが、要求事項によって定められています。
- **要素 4：レポーティング**：レポーティングの基準は、債券への投資家に対して、少なくとも、資金の充当状況及び可能な場合には定量的もしくは定性的な適切なパフォーマンス指標を用いたサステナビリティレポートを発行する、という推奨事項によって定められています。

*1:グリーンボンド原則(2021 年国際資本市場協会(ICMA)、2021)

*2:グリーンボンドガイドライン(環境省、2020)

*3:気候ボンド基準 3.0 版(気候ボンドイニシアチブ、2019)

IV. 評価作業

DNVの業務は、北陸電力によって誠実に情報提供されたという認識に基づき、利用可能な情報の包括的なレビューで構成されます。DNVは、提供された情報の正確さをチェックするための監査やその他試験を実施しません。DNV意見を形成する評価作業には、以下の初回定期レビュー及び定期レビューが含まれます。

初回定期レビュー(債券発行前) *この報告書には含まれません

- 債券発行への適用を目的とした、発行体のグリーンボンドを評価するための手順の作成。スケジュール-2に評価結果の概要を示します。
- 債券に関して発行体より提供された文書の評価及び、上位レベルデスクトップ調査による補足的な評価。これらのチェックでは、最新のベストプラクティス及び標準方法論を参照します。
- 発行体との協議及び、関連する文書のレビュー。
- 基準の各要素に対する観察結果の文書化。

定期(年次)レビュー(債券発行後)

- 債券発行に関連した発行体から提供された根拠書類、上位レベルのデスクトップ調査、文書レビュー、発行体の主要担当者へのインタビューで補足された根拠書類の評価。これらのチェックは、現在の評価のベストプラクティスと標準の方法論を参照しています。
- 発行体関係者との協議、および関連資料のレビュー。
- 現地調査および検査(必要な場合)。
- スケジュール-2に記載されたプロジェクト及び資産の定期評価時点でのレビュー。
- 定期評価における観察事項の詳細の文書化。

DNVの意見表明(詳細は後述)はこれらの観察結果を要約したものです。

V. 観察結果及び DNV 意見表明

DNV の観察結果と意見は以下の通りです。

要素 1 : 調達資金の使途

北陸電力は、調達した資金[調達総額 100 億円のうち手取り金 99.6 億円]を、以下の事業にリファイナンスしたと、及びファイナンスを開始したことを報告しています。

(1) グリーン適格プロジェクト (リファイナンス) :

再生可能エネルギーに関する事業

- プロジェクト : 水力発電事業(8 箇所)	: 19.2 億円
小計	: 19.2 億円 …(A)

(2) グリーン適格プロジェクト (新規充当) :

再生可能エネルギーに関する事業

- プロジェクト : 水力発電事業(6 箇所)	: 28.0 億円
2022 年 3 月末時点	
小計	: 28.0 億円 …(B)
	: 残額 (52.4 億円) …(C)

合計 : 99.6 億円 …(A)+(B)+(C)

スケジュール 1 に、これらグリーンプロジェクトの一覧を示しています。

DNV は上記の選定されたプロジェクト及び資産が適格性を満たしていることをレビューしました。

要素 2 : プロジェクトの評価及び選定のプロセス

調達資金はスケジュール-1 に記載のプロジェクト及び資産に対して、計画通りにリファイナンス、ファイナンスが開始されました。また、DNV は、北陸電力が当該プロジェクトの改修及び実行に当たっては、定期的に改善の機会(可能性)を判断・評価し、また活動計画の立案、実行を通じて生じる環境や社会に対するネガティブな影響を低減するための自主的な活動を実施していることを、レビューを通じて確認しました。

要素 3 : 調達資金の管理

DNV は、北陸電力が債券発行以降から償還期限まで、どのように調達資金をトレースしたかについて提示した証拠をレビューしました。この定期レビューにおいては、2021 年度末(2022 年 3 月末)における調達資金の管理状況について、北陸電力から提供された具体的な記録(文書)に基づき確認されました。すべての調達資金は支出されるまで現金及び現金同等物で管理されています。支出と残高の詳細は北陸電力の内部手順に基づき記録されています。北陸電力が各会計期間(年度)で調達資金の残高を上記管理に基づき、レビューしています。DNV は定期レビ

ューにおいて、2021 年度末(2022 年 3 月末)時点において、19.2 億円がリファイナンスとして充当済みであること、28.0 億円が新規プロジェクトに充当済であること、52.4 億円が未充当であることを北陸電力から提供されたエビデンスを基に確認しました。

なお、先述の通り、ここでは DNV は債券の財務的なパフォーマンス、いかなる投資の価値、もしくは長期的な環境効果に関する取扱いは提供されません。

要素 4 : レポーティング

DNV はグリーンボンドで要求される特定の項目に関して、北陸電力が、北陸電力のウェブサイト及び統合報告書にて年次報告・公開していることを確認しました。またプロジェクト概要、資金充当・運用状況並びに関連する定量的及び定性的な環境評価結果(再生可能エネルギーに関する事業における CO₂ 排出量削減量等)が含まれていることを確認しました。

DNV は定期レビューを通じて、グリーンプロジェクトによりもたらされた環境改善効果が、債券発行前に北陸電力が定めた方法で適切に算定されていること、また環境改善効果が概ね計画通り得られていることを確認しました。

表-1 に北陸電力グリーンボンドのうち商用運転開始済プロジェクトでの環境改善効果評価結果を示します。

表-1 環境改善効果の進捗状況(2021 年度実績)

プロジェクト	環境改善効果
水力発電事業(10 箇所)	年間発電電力量 : 805,599 千 kWh CO ₂ 削減効果 : 370,414t-CO₂ ^{※1} * 2021 年度実績ベース

※1 : CO₂ 削減効果 = 年間発電量実績(kWh) × 電気事業者別 CO₂ 排出係数(kg-CO₂/kWh) × 0.95(送電ロス除く)/1,000

(電気事業者別 CO₂ 排出係数[出所 : 環境省])



DNV は、北陸電力から提供された情報と実施された業務に基づき、北陸電力が発行したグリーンボンドは評価手順の要求を満たしていること、そして GBP 及び GBGLs の中で述べられている「環境への利益を伴う新規プロジェクトもしくは既存プロジェクトへの資本調達及び投資を可能にする」というグリーンボンドの定義・目的と一致していることを意見表明します。

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

2022 年 9 月 29 日

マーク ロビンソン
サステナビリティサービス マネージャー
DNV ビジネス・アシュアランス、オーストラリア

前田 直樹
代表取締役社長
DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

金留 正人
プロジェクトリーダー
DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

宮本 育昌
チームリーダー
DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

About DNV

Driven by our purpose of safeguarding life, property and the environment, DNV enables organisations to advance the safety and sustainability of their business. Combining leading technical and operational expertise, risk methodology and in-depth industry knowledge, we empower our customers' decisions and actions with trust and confidence. We continuously invest in research and collaborative innovation to provide customers and society with operational and technological foresight. With our origins stretching back to 1864, our reach today is global. Operating in more than 100 countries, our 16,000 professionals are dedicated to helping customers make the world safer, smarter and greener.

スケジュール 1 対象プロジェクト概要

対象プロジェクト及び資産	グリーンプロジェクト大分類 [環境改善効果]	グリーンプロジェクト 中分類	グリーンボンド充当額 (総額100億円のうち手取り金99.6億円)	特記事項 (設置場所、出力(発電所)、概要、等)
水力発電事業(8箇所) (リファイナンス)	再生可能エネルギーに関する事業 [年間 CO ₂ 排出削減量、年間発電量(千 kWh)]	水力発電	19.2 億円 (2021 年度充当完了)	北陸電力管区内(10 箇所) 計 805,599 千 kWh (リファイナンス：2020年4月以降運転開始) (新規：2021年12月以降運転開始)
水力発電事業(6箇所) (新規)		水力発電	28.0 億円 (未充当資金 52.4 億円は 2023 年度までに新規充当 予定)	

スケジュール 2 グリーンボンド適格性評価手順

下記 GBP-1 ~ GBP-4 は、グリーンボンド(GBP)の各種基準を基に作成された DNV のグリーンボンド適格性評価手順です。

表中に記載の北陸電力グリーンボンド・フレームワーク及び法定関連書類(訂正発行登録書)、2021 年度実績に関する定期レポートは投資家向け説明資料として別途公開されています。

GBP-1 調達資金の使途

Ref.	基準	要求事項	評価作業(確認した項目)	DNV観察結果
1a	資金の種類	グリーンボンドの種類は GBP で定義される以下の種類のいずれかに分類される。 ・(標準的)グリーンボンド ・グリーンレベニューボンド ・グリーンプロジェクトボンド ・その他	確認した文書類： - 北陸電力グリーンボンド・フレームワーク - 訂正発行登録書 北陸電力関係者(以下、関係者)へのインタビュー	評価作業を通じ、北陸電力グリーンボンドは以下のカテゴリーに分類されることを確認した。 ・(標準的)グリーンボンド
1b	グリーンプロジェクト分類	グリーンボンドにおいて肝要なのは、その調達資金がグリーンプロジェクトのために使われることであり、そのことは、証券に係る法的書類に適切に記載されるべきである。	確認した文書類： - 北陸電力グリーンボンド・フレームワーク - 訂正発行登録書 - 2021 年度資金充当実績関連資料 - プロジェクト関連資料 関係者へのインタビュー	債券の目的に応じた判断により、調達資金の使途は以下のプロジェクト分類にリファイナンスされた。 <再生可能エネルギーに関する事業> -水力発電事業へのリファイナンス(8 箇所)： また、以下のプロジェクト分類に 2021 年度までに充当された。 <再生可能エネルギーに関する事業> -水力発電事業へのファイナンス(6 箇所) DNV は定期レビューを通じ、プロジェクトがグリーンボンド原則 2021 に基づく分類(再生可能エネルギー)であり、CO ₂ 排出リスクが相対的に少ないことや、またネガティブな影響が定性的及び定量的になっていることを確認した。また、これらの事項は、フレームワークを含む法的書類にも記載されており、1b での要求事項を満足していると結論付ける。
1c	環境面での便益	調達資金使途先となる全てのグリーンプロジェクトは明確な環境面での便益を有すべきであり、その効果は発行体によって評価され、可能な場合は、定量的に示されるべきである。	確認した文書類： - 北陸電力グリーンボンド・フレームワーク - プロジェクト関連資料 - 2021 年度再生可能エネルギー事業 CO ₂ 削減効果の実績 関係者へのインタビュー	DNV は、水力発電プロジェクトは建設及び運転を通じて土地利用や生態系への影響(リスク)があると考えている。DNV は北陸電力から提供された資料のレビューにより、北陸電力がプロジェクト実行に伴うリスクやそれに対する適切な対策を講じていることを確認した。また、北陸電力はプロジェクト実行により明確な CO ₂ 排出低減の環境改善効果があることを示していることを確認した。DNV は要求事項 1c を満足していると結論付ける。

Ref.	基準	要求事項	評価作業(確認した項目)	DNV観察結果
1d	リファイナンスの割合	調達資金の全部あるいは一部がリファイナンスのために使われる場合、又はその可能性がある場合、発行体は、初期投資に使う分とリファイナンスに使う分の推定比率を示し、また、必要に応じて、どの投資又はプロジェクトポートフォリオがリファイナンスの対象になるかを明らかにすることが推奨される。	確認した文書類： <ul style="list-style-type: none"> - 北陸電力グリーンボンド・フレームワーク - 訂正発行登録書 - 2021年度資金充当実績関連資料 関係者へのインタビュー	調達資金 (100 億円)は全てグリーンプロジェクトに充当される予定であり、そのうちリファイナンス計画としていた 19.2 億円(調達総額の約 20%)は計画通りリファイナンスとして 2021 年度に充当された。 水力発電事業：19.2 億円(2021 年度リファイナンス完了)

GBP-2 プロジェクト選定及び評価のプロセス

Ref.	基準	要求事項	評価作業(確認した項目)	DNV観察結果
2a	プロジェクト選定のプロセス	<p>グリーンボンドの発行体はグリーンボンド調達資金の使途となるプロジェクトの適格性を判断したプロセス概要を示すべきである。これは以下を含む(これに限定されるものではない)</p> <ul style="list-style-type: none"> 発行体が、対象となるプロジェクトが適格なグリーンプロジェクトの事業区分に含まれると判断するプロセス グリーンボンド調達資金の使途となるプロジェクトの適格性についての規準作成 環境面での持続可能性に係る目標 	<p>確認した文書類：</p> <ul style="list-style-type: none"> 北陸電力グリーンボンド・フレームワーク プロジェクト選定に関する北陸電力文書 <p>関係者へのインタビュー</p>	<p>北陸電力グリーンボンド・フレームワークに基づき、発行体(北陸電力)は GBP2021 及び関連する基準に従いプロジェクトの選定を行った。適格グリーンプロジェクトは、北陸電力の企業理念及び環境方針に合致したものであり、「北陸電力グループ カーボンニュートラル達成に向けたロードマップ」に関連して記載されている以下の取り組みが、GBP2021 に合致していることを確認した。</p> <p>北陸電力グループ カーボンニュートラル達成に向けたロードマップ 「電源の脱炭素化」</p> <p>DNV はプロジェクト及び資産の選定が北陸電力の関連部署及び責任者により決定されたことを確認した[本社経理部]。DNV は文書レビュー及び北陸電力へのインタビューを通じ、2a の要求事項を満足していると結論付ける。</p>
2b	発行体の環境及び社会的ガバナンスに関するフレームワーク	<p>グリーンボンドプロセスに関して発行体により公表される情報には、規準、認証に加え、グリーンボンド投資家は発行体のフレームワークや環境に関連する持続性に関するパフォーマンスの品質についても考慮している。</p>	<p>確認した文書類：</p> <ul style="list-style-type: none"> 北陸電力グリーンボンド・フレームワーク プロジェクト関連資料 https://www.rikuden.co.jp/setsubi/hatsuden.html <p>関係者へのインタビュー</p>	<p>発行体の実施するグリーンプロジェクトは、発行体の「北陸電力グループ2030長期ビジョン」及び「北陸電力グループ カーボンニュートラル達成に向けたロードマップ」と一致していること、またプロジェクトの実行にあたっては、国内の法制度等に基づき、環境側面が十分に配慮され、適切に対処されていることを確認した。また、発電所種別固有の環境・社会影響評価が、関連する技術基準等を参照し考慮されていることを確認した。</p> <p>DNVは北陸電力へのインタビュー及び北陸電力から提供される文書のレビューにより、2050年カーボンニュートラルに向けて事業活動を通じて持続可能な社会の実現に取り組んでいることを確認した。北陸電力は、これらの活動状況を北陸電力統合報告書及び関連ウェブサイトにおいて、グリーンボンド特有で要求される事項について公開している。</p> <p>また、北陸電力は150か所以上の再生可能エネルギー施設を保有しており、低炭素社会の実現に貢献している。</p> <p>https://www.rikuden.co.jp/setsubi/hatsuden.html (水力発電所、風力発電所、太陽光発電所の項目を参照のこと)</p> <p>DNVはプロジェクト及び資産の選定が北陸電力の関連部署及び責任者により決定されたことを確認した[本社経理部]。DNVは文書レビュー及び北陸電力へのインタビューを通じ、2bの要求事項を満足していると結論付ける。</p>

GBP-3 調達資金の管理

Ref.	基準	要求事項	評価作業(確認した項目)	DNV観察結果
3a	調達資金の追跡管理-1	グリーンボンドによって調達される資金に係る手取金は、サブアカウントで管理され、サブ・ポートフォリオに組み入れ、又はその他の適切な方法により追跡されるべきである。また、グリーンプロジェクトに係る発行体の投融資業務に関連する正式な内部プロセスの中で、発行体によって証明されるべきである。	<p>確認した文書類：</p> <ul style="list-style-type: none"> - 北陸電力グリーンボンド・フレームワーク - 訂正発行登録書 - 北陸電力内部手順(文書規程) - 2021年度資金充当実績関連資料 <p>関係者へのインタビュー</p>	<p>DNVは文書レビューとインタビューにより北陸電力がボンド発行時点から支出が完了するまでの間、調達資金を適切に追跡調査する計画であることを確認した。調達資金の総額は北陸電力の経理部により既存の経理システム及びグリーンボンド用の稟議書を用いて管理していることを確認した。</p> <p>DNVは北陸電力内部手順によりグリーンボンド調達資金の残額が管理・記録可能であることを確認している。DNVは要求事項3aを満足していると結論付ける。</p>
3b	調達資金の追跡管理-2	グリーンボンドの償還期間において、追跡されている調達資金の残高は、一定期間ごとに、当該期間中に実施された適格プロジェクトへの充当額と一致するよう、調整されるべきである。	<p>確認した文書類：</p> <ul style="list-style-type: none"> - 北陸電力グリーンボンド・フレームワーク - 訂正発行登録書 - 北陸電力内部手順(文書規程) - 2021年度資金充当実績関連資料 <p>関係者へのインタビュー</p>	<p>DNVは文書のレビューとインタビューにより北陸電力がボンド発行時点から支出が完了するまでの間、調達資金の追跡調査計画に基づき実施していることを確認した。調達資金の残高はプロジェクト及び資産のリファイナンススケジュールに従い減少していることを確認した。少なくとも四半期毎の債券の未充当資金の残高は北陸電力の経理部によりレビューされたことを確認した。DNVは要求事項3bを満足していると結論付ける。</p>
3c	一時的な運用方法	適格性のあるグリーンプロジェクトへの投資または支払いが未実施の場合は、発行体は、未充当資金の残高についても、想定される一時的な運用方法を投資家に知らせるべきである。	<p>確認した文書類：</p> <ul style="list-style-type: none"> - 北陸電力グリーンボンド・フレームワーク - 訂正発行登録書 - 北陸電力内部手順(文書規程) - 2021年度資金充当実績関連資料 <p>関係者へのインタビュー</p>	<p>ボンドの手取り金は既存の経理システム内でグリーンボンド用の稟議書を使って経理部により管理されている。また手取り金は北陸電力グリーンボンド・フレームワークに従い速やかに全額が充当され、未充当資金については現金及び現金同等物で管理されていることを確認した。DNVは要求事項3cを満足していると結論付ける。</p>

GBP-4 レポートニング

Ref.	基準	要求事項	評価作業(確認した項目)	DNV観察結果
4a	定期レポートの実施	<p>調達資金の使途及び未充当資金の一時的な投資のレポートに加え、発行体はグリーンボンドで調達した資金が充当されているプロジェクトについて、少なくとも年に1回、以下を考慮した上で、各プロジェクトのリストを提供すべきである。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 守秘義務や競争上の配慮 - 各プロジェクトの概要、期待される持続可能な環境・社会的な効果 	<p>確認した文書類：</p> <ul style="list-style-type: none"> - 北陸電力グリーンボンド・フレームワーク - 再生可能エネルギー事業 CO₂ 削減効果実績(2021 年度) - 北陸電力グリーンボンド(北陸電力株式会社第 347 回社債(一般担保付))レポートニング - CO₂ 削減効果評価シート <p>関係者へのインタビュー</p>	<p>北陸電力はグリーンボンドで要求される特定の項目を1年に1回報告する計画に基づき、「北陸電力グリーンボンド(北陸電力株式会社第 347 回社債(一般担保付))レポートニング」としてウェブサイト上で公開した。この報告には、プロジェクトに関する記載や調達資金の充当状況、関連する定量的及び定性的な環境影響評価が含まれていることを確認した。北陸電力は CO₂ 排出削減量総量を運転記録(年間当たりの発電量千 kWh/年)に基づき報告していることを確認した。DNV は要求事項 4a を満足していると結論付ける。</p>